

順光寺の菖蒲 本堂東側に咲く菖蒲の花。先々代住職が植えたもので、毎年6月に咲き誇ります。

# 住職挨拶

順光寺住職 豅 純吾

慈光照護のもと、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のことと存じます。新型コロナウイルス感染症の拡大が今もなお続く中、ご心配な日々をお過ごしのことと存じます。住職としてできる限り門信徒の皆さまのお気持ちに寄り添えるような取り組みを続けていきたいと思います。

来年、2023(令和5)年、本山・西本願寺(京都市)において、「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」がお勤まりになります。親鸞聖人のご誕生をお祝いし、立教開宗(教えが開かれ、宗派が新たに生まれること)に感謝する法要です。コロナ禍の心配はありますが、ご法要が無事勤められることを願っております。

浄土真宗の寺院は、親鸞聖人が説き示された浄土 真宗のみ教えをお伝えする「聞法の道場」。本山での 法要を機に、順光寺の護持発展により一層尽力して まいります。引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよ うお願いいたします。

末筆となりますが、長きにわたり順光寺の運営をお支えくださった福井幸隆前総代長が、昨年7月にご逝去されました。本堂改修事業を推進されるなど、総代長として重責を担われました。謹んでお知らせいたしますとともに、心よりお悔やみ申しあげます。

## 総代長挨拶

順光寺総代長 福井昭夫

寺報「順光寺だより」第7号が発行の運びとなりました。編集委員の皆さまのご尽力に感謝の意を表します。このコロナ禍において、「順光寺だより」が門信徒の皆さまとのコミュニケーションツールになることを願ってやみません。

新型コロナウイルス感染症の拡大が予断を許さない状況が続いていることから、順光寺のさまざまな行事が変更を余儀なくされています。

門信徒総会も2年連続で中止としておりますが、門信徒の皆さまの貴重なご意見をいただく大切な会であり、本年度は感染対策を徹底して開催する方向で進めております。ぜひともご出席賜りますようお願い致します。

昨年7月、福井幸隆前総代長が、ご逝去されました。 長年にわたり順光寺の運営に尽力され、時代に即応し た組織体制を構築されました。衷心より哀悼の意を表 します。前総代長のご遺志を受け継ぎ、順光寺の発展 に尽力してまいりますので、引き続き皆さまのお力添 えを賜りますようお願い致します。

## 順光寺トピックス

## 境内•建物整備

2021 (令和3) 年度、よりお参りしやすい環境をつくるため、境内と建物の整備を行いました。

#### ●仏間の縁側に網戸を設置

窓を開けて会議や会合を行えるように、網戸を設置しました。

#### ●仏間の障子を張替

破れにくいワーロン紙を使い、障子を張り替えました。



#### ●駐車場の切株を 整備

切株を伐採し、車の 出入りをしやすくし ました。



#### ●仏間のエアコンを設置

長年使用していた仏間のエアコンを新調しました。冷暖房効率を考え設置場所を変更しました。



### 2021 (令和3) 年度 行事報告

## 盆前清掃〈8月7日〉

毎年恒例のお盆前一斉清掃。ご門徒の皆さんと一緒 に、本堂・境内のお掃除、仏具のお磨きを行いまし た。気持ちよくお盆をお迎えすることができました。 早朝からご参加いただき、ありがとうございました。

## 報恩講〈11月14日〉

浄土真宗の寺院では、年間を通して最も大切とされる法要です。今年も、新型コロナウイルス感染症の予防のため、午後法要・一座のみとしました。 ご講師は、北島清秀師(出雲市・乗光寺ご住職)。ご門徒の皆さまと一緒にお聴聞させていただきました。 大正琴による「報恩講のうた」も披露。今年も感染症対策を万全にして開座しました。



#### 元旦会〈1月1日〉

順発をお動めた。年の 一般をおりた。年の が完めるが、はない。 はいれるが、はないです。



新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底して お勤めさせていただきました。

### 春彼岸·永代経法要〈3月21日〉



要です。

前年度同様、時間を短縮してお勤めしました。

# 仏事Q&A

### お仏壇について

#### お仏壇はご家族の「心の拠りどころ」

お仏壇は、ご家族が一緒に手を合わせ、亡き方を偲 びながら仏さまのお慈悲を味わわせていただく場所で す。大切にお給仕いたしましょう。

なお、お仏壇にはいろいろな形のものがあります。 お仏壇や仏具の選び方など、疑問に思われたら、順光 寺までお気軽にご相談ください。

お給仕

朝、お仏飯をご本尊・お脇掛の前にお供 えします。

お花は生花をお供えします。枯れたまま にならないよう、こまめに変えましょう。

お掃除

金箔のところは、羽ぼうき(毛ばたき) でそっと埃を払います。手で触れたり布 で拭いたりすると、金箔が剥がれること がありますので、ご注意ください。漆塗

りの部分は同様に埃を払い、仏壇用のクロスなどで汚 れを拭き取ります。

お仏壇は、ご本尊(阿弥陀如来さま)を安置すると ころです。また、ご本尊の右側には親鸞聖人(または 九字名号)、左側には蓮如上人(または十字名号)のお 脇掛を安置します。ご本尊・お脇掛は、本山・西本願 寺からお迎えします。

ご位牌は浄土真宗では用いません。故人の法名・俗 名などは、過去帳に記録します。

経机の上にはお経本を置き、右側にはりん(鐘)を 台座に乗せて置きます。



#### 福井幸隆前総代長ご逝去

2021 (令和3) 年7月、10年以上の長きにわたり順光寺総代長をお務めいただいた 福井幸隆氏がご逝去されました。

庫裡増改築工事や本堂改修工事などの事業を推進され、時代に即応した寺院組織の 改革を進めるなど、順光寺の運営にご尽力いただきました。

ここに謹んでお知らせいたしますとともに、衷心より哀悼の意を表します。

浄土真宗本願寺派順光寺寺報

#### 順光寺だより 第7号

2022 (令和4) 年7月1日発行

編集 順光寺寺報編集委員会

発行 浄土真宗本願寺派

豊饒山 順光寺

印刷 株式会社谷口印刷





揮毫:細田青秀氏(順光寺ご門徒)

〒690-0881 松江市石橋町44

TEL 0852-23-3718 FAX 0852-67-3276

E-mail info@junkouji.net 公式サイト https://junkouji.net

順光寺

検索

🚺 junkouji.matsue 🔰 @junkouji







## 香りのお供え

法話・写真 豅 純吾(住職)

### 光明は、あまねく十方世界を照らし、 念仏の衆生を摂取して捨てたまはず (観無量寿経)

地域団体の活動を続ける中で、20代~30代の若い人たちが順光寺を訪れることが増えてきました。 普段、お寺に立ち寄る機会が少ない人も多く、本堂に入ると、内陣のお荘厳や壁の掲示物を興味深く見ています。

お寺に来た若い人たちは、口々にこう言います。 「お寺の本堂って、お香の良い香りがしますね。」

お寺では、仏さまへのお敬いの心で「香り」を「お供え」します。お香の香りは広く隅々まで行き渡る ことから、広く平等に行き渡る阿弥陀如来さまのお 慈悲を表しています。

お香をお供えすることを「供香」といいます。供香には、「焼香」と「燃香」があります。

焼香は、法要や儀式で行います。香炉に火をつけた炭をあらかじめ入れておき、抹香(粉末状のお香)をたきます。その時、右手で香を一回だけつまみ、いただかずにそのまま香炉に入れます。お焼香の後には、必ず合掌・礼拝をします。

阿弥陀如来さまへのお敬いのこころを、お香をお供えし合掌・礼拝するという作法に表したものがお焼香です。

燃香は、法要や儀式にかぎらずお香をお供えする ことです。ご自宅のお仏壇で燃香を行う場合、お線 香を香炉の大きさにあわせて折り、火の着いたほう を左にして灰の上に寝かせます。浄土真宗ではお線 香は立てません。

大きな香炉の灰の中に線状に抹香を並べ、火を点けるのが燃香の元々の形です。線香が考案されたのは江戸時代初期と言われています。

先述のとおり、お香の香りは、すべての人々に行き届く阿弥陀如来さまのお慈悲を表しています。如来さまの願いを味わいながら、日々心を込めてお仏壇にお供えしましょう。